



SIMCO 通信

令和6年1月25日
第154号 発行



新年ご挨拶 代表取締役 嶋崎利行



皆さま、新年明けましておめでとうございます。本年も何とぞ宜しくお願い申し上げます。

さて今年元旦より、大変なニュースが立て続けに飛び込んで参りました。能登地方を震源とするマグニチュード7.6、石川県では初となる最大震度7を記録した大地震は、多数に及ぶ建物の倒壊や津波、大規模な火災等を引き起こし、尋常ではない度重なる回数大きな余震とも相まった結果、水道や電気などのインフラはずたずたととなり、未だに復旧の目処が立たれていない箇所も沢山あると聞きます。被災された方々には心より、深くお悔やみ申し上げますと共に、一日も早い復旧復興を願わずには居られません。また二日には羽田空港において、日本航空と被災地に物資を輸送しようとしていた海上保安庁の航空機同士の衝突事故が発生し、幸いにも日航機の乗員・乗客379人は全員無事に救出されましたが、残念ながら海保機は機長を除く5人の乗員の方々の死亡が確認されています。こちらも大変痛ましい事故でありましたし、一日も早い原因の究明が待たれます。

そして今般の地震ならびに事故により、お亡くなりになられた方々のご冥福を衷心より深くお祈り申し上げます。我が国にとって強く心に刻まれる、辛く厳しい新年のスタートとなりましたが、皆で手を取り合って、何とかこの難局を乗り越えて行かねばなりません。

さて、今年の干支は十干の「甲」と十二支の「辰」が組み合わさった「甲辰(きのえたつ)」です。甲は十干の最初に出てくるもので、甲冑(かっちゅう)の「甲」の文字から鎧や兜を連想させ、種子が厚い皮に守られて芽を出さない状態や、物事に対して耐え忍ぶ状態を表す文字です。また、生命や物事の始まり、成長も意味します。そして辰は「振るう」という文字に由来しており、自然万物が振動し、草木が成長して活力が旺盛になる状態を表します。辰は竜(龍)のことであり、十二支の中で唯一の空想上の生きものです。東洋で権力・隆盛の象徴として親しまれていた龍は、身近な存在であったことから干支に選ばれたと言われています。

波乱の幕開けとはなりませんが、甲と辰が合わさる2024年は、辰年のキーワードである「変革(転機)」や「激動」が示すように、時代が動く年となるかも知れません。大きな出来事が起こると予想され、これまでの努力が実って夢が叶いやすい年とも言え換えられます。中には努力が成果に繋がらないこともあるかもしれませんが、くさらずに努力を続ければ水面下で着実に育ち、脈々と次につながって行くことはきっと間違いありません。翻って被災地の方々におかれる、復旧の深い苦しみや悲しみに堪え忍ばれた後には、微かでも明るい復興の陽射しが差し込んで来る日を信じて、小職も自らの生業を通じ、たとえ細やかでも復興の一助とならんことを願いつつ、一歩ずつ地道に頑張っている所存でございます。

本年もご指導ご鞭撻のほど、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

嶋崎熱処理株式会社
代表取締役社長
嶋崎利行

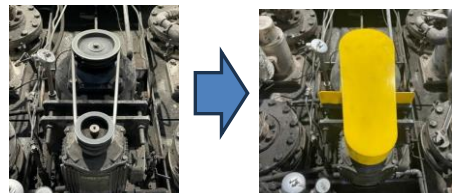
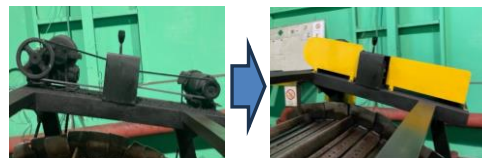


安全対策 (安全衛生推進)

昨年は残念ながら製造過程での怪我があり、今年はいよいよ一層安全衛生を推進して行きます。

安全衛生推進者を中心に安全パトロール(危険箇所の抽出) ポスターの設置(安全意識向上) KYT訓練(危険を予知し、安全な行動をとる)など様々な活動を行い、今年「ゼロ災」が当たり前になるようにしていきます。

右の写真ではVベルトやチェーンなど回転している箇所にカバーを設置しました。





1月 点検・清掃活動



1月、製造第一グループでは焼入れで使用している油槽の清掃を行いました。
油槽は計3槽あり全ての油槽内スラッジを回収し、約8 t 程のスラッジを回収しました。

製造第三グループでは、UBGの攪拌機と炉内清掃を行いました。
夏場は炉内が40℃近くあって大変ですが、この時期は15℃くらいなので外気より暖かくちょうどいい環境で清掃、点検ができて清掃作業が捗りました。

長期休暇にしかできない作業なので、次回清掃はGWになります。
炉内を綺麗にし、高品質を保つためにしっかりと清掃するのが肝になります。油槽・炉内清掃の様子を写真に収めたのでご覧ください。



製造第三G 炉内清掃

製造第一G 油槽清掃

令和6年度 安全標語

安全推進の活動の一環として今年の安全標語が決定致しました！
昨年の12月に従業員に募集をかけ、経営幹部の方で審査を行い最も票が入ったものが【最優秀賞】であり次に票が入ったものが【佳作】となります。
弊社では【最優秀賞】1点、【佳作】2点となり1年間掲示する取り決めとなっていますので来社された際は一度ご覧になって下さい。
以下に作品を紹介します！



【最優秀賞】

伝え合おう 他人のヒヤリは 自分のヒヤリ

製造第三グループ 西さん

【佳作】

安全を 確認する癖 プロの技

製造第一グループ 田村さん

口に出そう いかなる時も わずかな違和感

製造第二グループ 永尾さん

入賞した方は全員30才以下の若手社員でした。若手ですが安全への意識が見受けられ非常に嬉しく思います。
これからも安全第一で行きましょう！ゼロ災ヨシッ！！

【編集後記】

去年は夏日が過去最高日数となり当社の仕事上とてもきつい年となり、今年は余り暑くないといいなあと思っております。
島崎熱処理株式会社は今年も「S(安全衛生)・Q(高品質)・D(納期遵守)・C(充実のコスト)」を念頭に置いていきますので皆様、本年度も何卒宜しくお願い申し上げます。

(裏面担当 品質保証グループ 山村)